

地域連携推進会議 議事録

【1-5】

会議名；令和7年度地域連携推進会議

実施日時；令和8年3月26日（木） 11：00～12：30

場 所；壺番館 会議室

参加者；入居者代表・・・・・・・・・・2名（A氏、B氏）

入居者家族代表・・・・・・・・・・3名（C氏、D氏、E氏）

地域関係者・・・・・・・・・・1名（F氏）

福祉に知見のある方・・・・・・・・1名（G氏）

船橋市担当者・・・・・・・・・・2名（H氏、I氏）

【施設職員】

施設長・・・・・・・・1名、サービス管理責任者・・・・2名（係長、主任）

生活支援員・・・・2名（係長、主任）

□ 施設長挨拶

本日は、年度末のお忙しいところ、当施設の“地域連携推進会議”にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

今回は、第1回目ということで、ご出席の皆様の顔合わせと当施設の概要や取り組みの紹介を主な内容として進めさせていただきます。

改めて申し上げますと、“地域連携推進会議”は、サービスの透明性や質の確保・ご利用者の権利擁護・地域との連携、関係づくり等が目的となります。

まずは、ありのままの施設をご覧いただき、皆様からいただいたご意見などは、より良い施設運営につなげていきたいと考えておりますので、率直にお感じになったことをお話しいただければと思います。

本日は、よろしく願いいたします。

□ 参加者自己紹介

各参加者より挨拶をいただく。

□ 施設の概要・取り組み内容の説明

※資料に基づき説明を実施、その為一部内容については省略しています。

1. 個人情報保護に関するお願い

会議で知り得た情報は口外しない事、見学時に写真撮影は行わない事などを説明。

2. 施設紹介

法人基本理念、施設概要・実施事業について説明。

3. 職員構成について

職員構成・勤務時間について説明。

4. 入居者について

障害者手帳等級、障害支援区分、生活スケジュールについて説明。

5. 入浴について

入浴回数、各種浴槽説明、各浴槽の入浴者数について説明。

6. 余暇活動について
サークル活動、日中活動、外出支援の実施状況について説明すると共に、スライドにて、活動の様子を報告する。
7. 事故・ヒヤリハットについて
 - ・施設内での事故について報告
事件事例として「自身で動いた際、又は介助時に体をぶつけてしまい痣（傷）が出来た」「服薬介助時に、薬を口から吐き出してしまった」「車椅子利用者が落ちた物を拾おうとして、車椅子ごと転倒した」などの事例を報告。事故要因は何か「本人・職員・環境」とそれぞれについて分析し、再発防止に向けて取り組んでいる。
 - ・ヒヤリハットについて報告
ヒヤリハット事例として「車椅子乗車時に普段使用している胸ベルトが着用されていなかった」「服薬の際に薬が袋に入っていなかった」等、ヒヤリハットの事例を報告。要因分析を行い事故防止に努めている。
8. 権利擁護の取り組みについて
全職員に対して権利擁護の一環として虐待防止研修を実施している。新任職員、中途採用職員は入社時にも研修を行っている。
また、支援を行う上での注意点の一つとして、写真撮影が必要な際には、施設所有のカメラを使う。入浴時の事故など緊急やむを得ない場合を除き、肌が露出した状態での撮影は行わない、撮影した写真データは速やかに削除するなどのルールを設けている。
「通報義務」についても、研修内で通報の必要性など周知に取り組んでいる。
9. 自然災害、感染症発生時の取り組み
自然災害や感染症発生時などの、緊急時に備え「利用者の安全確保」と「サービスの継続」「早期復旧」を確実に実行できるよう業務継続計画（BCP）を策定し、研修や訓練を行っている。
防災物品や備蓄品を用意し、災害時の体制を整えている。
船橋市と福祉避難所に関する協定を締結している。
10. 食事係について
イベント食等について、スライドにて説明。
11. 健康管理課・リハビリ係について
入居者との関わりについて、スライドにて説明。

□ 施設内見学

各フロアの見学を実施。

□ 意見交換会

F 委員より；地域の福祉まつりなど色々な場面で多くの職員さんが参加してくれています。オーヴェルさんについては、パンやコーヒーの販売などしていただいています。この様に、地域の取り組みに多く参加していただいているので、会議の資料に取り入れても良いと思いますし、もっとアピールしても良いと思います。

職 員より；地域との関わりに関する情報が不足し失礼いたしました。地域での活動については、隣接するオーヴェルや高齢者施設が中心に活動を行っていますが、共同して当施設の職員も地域のお祭りなどに参加させていただいています。引き続き、地域活動に取り組み、皆さんとの関係を深めて行きたいと思います。

G 委員より；配布資料に施設を映した航空写真があったが、ローゼンヴィラ藤原の他にどの様な施設があるのですか。

職 員より；航空写真にて説明。障害者支援施設、特別養護老人ホーム、本部棟があります。

本部棟については、3 階が高齢者通所事業所、2 階は障害者通所事業所、就労支援 B 型事業所があり 1 階はレストラン等となっています。特別養護老人ホームについては、従来型の特養（弐番館）とユニット型の特養（参番館）、軽費老人ホームケアハウスの 3 つの事業を実施しています。

C 委員より；消防による立ち入り検査は何回実施していますか。

職 員より；基本年 1 回程度です。その他にも、消防立ち合いの消防訓練等を行い、避難誘導や初期消火訓練など消防署員から直接指導を受けています。

C 委員より；家族が施設に入所して数年たつが、自ら衣類を擦ってしまい劣化が激しいので、出来れば居室に入って衣類の確認をしたいが出来ますか。

職 員より；感染症対策として、ご家族の居室への入室をご遠慮いただいています。今後、少しでもその様な機会が作れる様に検討をしていきたいと思えます。

C 委員より；施設内では温度管理など環境面でも整っていると思いますが、外泊をした際に施設と自宅で環境が変わるのか、よく発作を起こします。他の入居者でも発作もしくは、施設内で熱が出るなど体調を崩す方はいますか。

職員より；要因は様々ですが、突発的に熱が出る方などはいらっしゃいます。熱や風邪症状がみられた際は、同室者も含め居室で過ごしていただいています。新型コロナウイルス感染症発生時は同じ食事のスペースの方も感染している可能性があるので、フロア全体を感染症対応として隔離させていただいた事もあります。

H委員より；日中活動や外出行事で人気のあるものは何ですか。

職員より；外出行事や施設内行事は楽しんでいただいている様子が伺えます。令和7年度は、ローズまつりにご家族も招待させていただき、ご家族と一緒に参加されている時は、普段では見られない入居者の一面を見る事ができて職員としても嬉しかったです。

C委員より；昨年のローズまつりに初めて参加させていただきました。入所している家族と一緒にステージ上での演目をみて楽しい時間を共有できることに嬉し涙が出ました。

G委員より；施設見学を希望したい場合、どの様にすれば良いですか。

職員より；見学は受け付けております。居室内を見学していただく事は難しいですが、共用部の見学は可能です。参加人数や時間帯など調整が必要な事もありますので、ご希望があれば連絡・相談いただければと思います。

B委員より；施設内行事の、クリスマス会やローズまつりに楽しく参加しました。

職員より；クリスマス会では、ご家族の参加は出来ませんでしたが近隣高校の吹奏楽部をお招きしてクリスマスにちなんだ演奏、迫力ある演奏を披露していただきました。その場にいる全員が感動に包まれていました。

A委員より；家族が自由に部屋に出入りできる様になりますか。

職員より；新型コロナウイルス感染症が流行する前は、自由にご家族が入館できて居室で過ごすことができていました。入居されている方は持病をお持ちの方も多いため、感染症を持ち込まない対策を講じてきました。昨年からは、外出・外泊を再開するなど少しずつ対策を緩和してきました。今後も皆さんの意見を参考に緩和策を協議していきたいと思えます。

C委員より；新型コロナウイルス感染症の影響は大きいと思います。入居者によっては持病をお持ちの方もいると思います。私の家族も発作を持っています。時折外泊すると家では大小の発作が起きていますが、施設ではそんなに発作は起きていないと聞きます。感染症対策については、十分に理解はしていますが、出来れば施設で暮らす息子の様子を見てみたいと思います。

職員より；最近は、施設内での感染症の流行はありませんでしたが、過去には集団感染も経験しています。施設によっては、感染症対策についてかなり緩和している施設もありますが、当施設の入居者は持病や体力・抵抗力の兼ね合いから重症化してしまうリスクもあり、慎重にならざるを得ない事をご理解いただければと思います。

G委員より；感染症が発症した場合、隔離などは行うのですか。

職員より；発症した方は、居室で過ごしていただいています。当施設では2人部屋、4人部屋となっていますので、同室者についても協力していただき居室で過ごしていただく事としております。

I委員より；コロナ禍前は、家族は居室へ入室出来ていたのですか。また、土日も自由に出入りが出来ていたのですか。

職員より；土日も含め、自由に出入りが出来ていました。

I委員より；家族の都合など、入所の方法など地域の方を招いて講習会など説明するような場は設けていますか。

職員より；地域の方などをお呼びしての講習会のような場は設けていません。ご連絡をいただいた方には、個別に対応をさせていただいています。

G委員より；将来施設に入所したい場合、入所に関する説明はあるのでしょうか。

職員より；まずは待機登録していただく事になります。登録後は定期的にハガキにて入所の意向確認や現状把握などを行っています。
また、事前に施設生活がどの様なものか体験していただくため、短期入所のご利用をお願いしています。

B委員より；ボッチャ大会に参加しています。ボッチャはルールが厳しく、一度大会にてペナルティで失格になった事があります。それでもボッチャは楽しくて好きです。

職員より；県大会などオリンピック候補者が集う大会では、障害に応じたクラス分けやルールなども細かく決められています。その中で皆さん頑張っています。

□ 閉会

以上